

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【人権集会の実施について】</p>	<p>12月の人権週間に合わせて、JRC委員会が中心となり「とよっこ人権集会」を行った。昨年度の反省から、低学年の児童にも分かりやすく、人権についての意識を高められるような内容になるよう計画・準備をすすめた。当日は、この機会に伝えたいメッセージを委員会の児童が考え、自分や友達によさに目を向けること、一人一人違うことを知り、互いを尊重すること等を発表した。さらに、「こんなときあなたならどうする？」と問いかけた人権クイズを出題した。各学級では、いじめが人権課題の一つであることをふまえ、人権を尊重することの大切さについて話し合いを行った。そして、「いじめゼロ！わたしのクラスのスローガン」を考え、代表者が発表した。集会の最後には、「世界が一つになるまで」の合唱を行った。学校中に優しい歌詞とメロディーが響き渡り、温かな雰囲気包まれた。</p> <p>成果</p> <p>イラストを提示しながら発表した人権に関する話や身近な状況を取り上げた人権クイズが、低学年の児童にも分かりやすかった。楽しく参加できる内容にしたことで、全校児童が人権についての考えを深めることができた。集会後の児童の振り返りには、自分や友達を大切にしていこうとする想いが綴られていた。また、集会の中で校長先生のお話にあった「わたしと小鳥とすずと」の詩を人権コーナーで紹介したり、「いじめゼロスローガン」を各学年のテラスに掲示したりと環境整備を行ったことで、集会後も学校全体で人権を大切にしようとする意識を高めることにつながった。</p> <p>課題</p> <p>12月の人権週間に合わせて集会を行ったが、学校行事が続いたり、感染症による学級閉鎖のクラスが出たりして準備が難しかった。限られた時間の中で準備やリハーサル等を行ったため、委員会児童の負担が大きくなってしまった点が反省である。来年度は実施時期や内容の検討をしていく必要がある。</p> <p>人権集会後も、日常的に豊かな人間関係づくりを進めるとともに、人権を大切にしようとする児童の実践的態度を育てていくことが大切である。</p>
<p>2 実践2 【職員研修の実施について】</p>	<p>本校では、毎月職員会議後にコンプライアンス研修の時間を設定している。また、教職員用の週案には人権感覚チェックリストが設けられ、日々の人権意識の向上を図っている。夏期休業中には、人権教育研修会を設け、夏期研修会の伝達や人権問題啓発動画「HOME」の視聴を行った。併せて、TikTokを活用した人権啓発動画を紹介し、2学期からの人権学習がよりよいものになるよう研修を行った。「HOME」やTikTokの動画は豊浦小職員のteamsにURLを貼り付けて送信し、振り返って視聴したり、学習に活用したりできるようにした。</p> <p>成果</p> <p>情報機器を利用したトラブルが懸念される中、夏期研修で視聴したTikTok動画は、児童にとって親しみやすく、人権課題の一つである「インターネット上の人権侵害について」考える際に活用できる内容であった。</p> <p>コンプライアンス研修や週案のチェックリストを活用することで、日々の学習活動や生徒指導、環境づくり等様々な場面で、児童の人権を尊重しようとする教職員の意識が高まった。さらに、人権を考慮しながら学校だよりやホームページ等で児童の様子を知らせたり、協力を呼びかけたりすることで、各家庭や地域社会との相互理解を深めることにつながった。</p> <p>課題</p> <p>職員研修会が夏休み1回だったが、研修の形を工夫して人権を考える機会を増やしていきたい。また、来年度の人権教育推進計画には、今年度取り入れることができなかった人権課題についての内容を取り込むなど見直しを行いたい。</p>